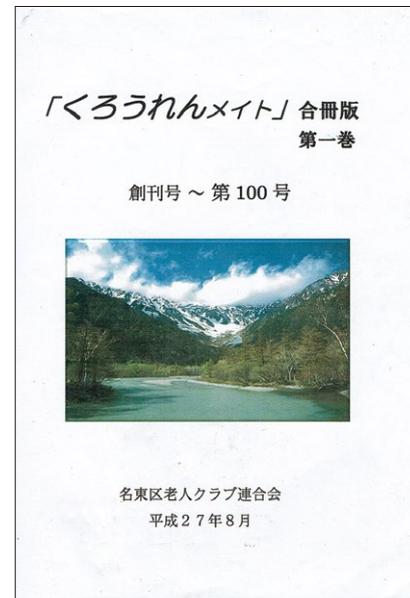


◆ 各区だより ◆

名東区 のめいじょう

楽しく・役立つ
「なごやかメイト」

令和2年度から連合会が毎月発行する「なごやかメイト」が、カラー刷りになりました。毎月更新されるホームページでは、A4サイズの紙媒体「メイト」では伝



達力に限界のある記事も、豊富な画像・鮮明な文字を駆使して、分かりやすく伝えることで、読者から好評を博しています。

連合会の活動を、知ってもらい、ひいては、見た人・読んだ人の「入会の動機」となって欲しいという、連合会の意思がこの二つの媒体の強化に繋がっています。

平成27年に、連合会が発足40年となった時、「40年の歩み」を編纂しました。また、同じ年の8月「メイト」が100号になったので、創刊号から100号までを合冊版第1巻にまとめ、過去の記録を、いつでも誰

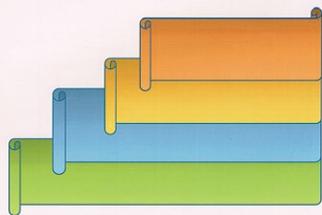
でも知ることができるようになりました。散逸しがちな記録をきちんと残す、広報部の大切な役割です。

「なごやかメイト」は、平成30年3月までは、「くろうれんメイト」と称していました。改称に踏み切ったのは、連合会が自身の通称を、「区老連」から「なごやか連」に改称したことによるものです。気持ちの問題でしょうが、「老」の言葉の持つ、ネガティブな面を、「和」のアクセティブな面にしたのです。

カラー刷りをネット通販の印刷で実現した時、紙質が上がり、見栄えも良くなり勧誘資料として十分使える

名古屋市名東区
老人クラブ連合会

40年の歩み



設立40周年記念誌

ようになつたので、A4サイズをA3サイズとし、昨年6月号では「健康長寿」をクラブのプラズ面として一般に訴える試みを実現しました。

(石川 紘一)

天白区 てんぱく

赤トンボの飛び交う中で

新型コロナウイルス感染症対応によってほぼ全ての老人クラブにおいて予定行事の多くが中止になったことでしょう。天白区老連においてもほとんどの行事が中止です。結果、我が敬友グラウンドゴルフクラブも昨年3月から活動自粛措置を取ることにになりました。クラブの仲間にも逢えない日々悶々とする生活でしたが、6月に入るとコロナの感染者数も落ちつきはじめ、念願のクラブ活動を再開することができました。

以前と同じく近場の公園一角を、朝2時間ほどお借りします。近くを天白川が流れ、東南方向からはオアシスの森のある相生山緑地の美味しい空気が流れてきます。練習を重ねるうち、今年度は一度も大会を行っておりませんでしたので、「秋大会」を9月16日に開催することになりました。



大会は三密回避策徹底の中、ソーシャルディスタンスとマスク着用を基本とする2ゲーム勝負です。帽子着用も重なりプレー中の真剣な表情は隠れ、意気込みのほどは窺えません。

表彰の段になり、当日参加17名の内、あと3カ月で数え90歳になる最高齢の女性が2位となりました。この方は日頃から健康に気をつけ、区老連行事にも率先して参加されます。お元気な身体に敬意を払いながらウィルス退散品目等超豪華(?)景品を授与することができました。

一日も早くコロナウイルスが終息し、私たち仲間が普通の生活に戻るよう願ってのクラブ大会。赤トンボの飛び交う秋の公園で楽しい時間を過ごせました。皆さまお疲れさまでした。

(北川 邦子)

